

「銅の達人」(3級相当)

新潟清酒達人検定 過去問題 (2024 年 1 月実施から抜粋)

検定実施時と設問番号は異なります。

第1問 日本の応用微生物学者として世界的に著名な「坂口謹一郎博士」の記述で、間違っているものはどれでしょうか。

- A 新潟市に建つ坂口記念館の敷地内には、博士が好んだ百種類もの牡丹が植えられた「牡丹園」がある
- B 日本独自の醗酵学を究め、日本農学賞、文化勲章、レジオンドヌール賞（フランス）など国内外から数々の栄誉を受けている
- C 「世界の酒」や「日本の酒」などの著書があり、「酒博士」と尊称されるとともに、自らも酒を愛した
- D 歌会始の召人を務めるなど歌人としても知られ、著書「醗酵」と「愛酒樂酔」には酒を題材とした歌を多数収載している

第2問 新潟の酒造好適米、「越淡麗」の両親の組み合わせはどれでしょうか。

- A 五百万石と美山錦 B 五百万石と雄町
- C 五百万石と山田穂 D 五百万石と山田錦

第3問 「荒ばしり」とはどのようなものでしょうか。

- A 仕込んだ直後の醪
- B タンクの呑み口から最初に出てくる醪や清酒
- C 醪を搾るとき、醪圧搾機から最初に出てくる清酒
- D ビン詰めした最初の1本目の酒

第4問 酒税法において、清酒は酒類のどの分類に入るでしょうか。

- A 醸造酒類 B 蒸留酒類 C 混成酒類 D 発泡性酒類

第5問 新潟の冬の気候は酒造りに適しているといわれていますが、その理由として間違っているものはどれでしょうか。

- A 日照時間が短い
- B 適度な低温で安定している
- C 日中と夜間の温度差が大きい
- D 降雪量が多い

第6問 新潟の気候、酒米、水質などの特質を十二分に引き出した酒のタイプはどれでしょうか。

- A 濃醇 B 淡麗 C 芳醇 D 淡泊

第7問 新潟県醸造試験場の説明として正しいものはどれでしょうか。

- A 全国の都道府県に設置されている清酒の研究機関の一つである
B 清酒を対象とする独立組織としては全国唯一の県立研究機関である
C 清酒を対象とする県立の研究機関が存在するのは、広島県、兵庫県、新潟県である
D 明治時代に国の研究機関として設立され、その後県に払い下げられた

第8問 きき酒で使われる「清酒の透明度」を示す用語は次のどれでしょうか。

- A てり B ひかり C きらり D あかり

第9問 酒税法で清酒と認められるアルコール度数は何度未満でしょうか。

- A 18度未満 B 22度未満 C 26度未満 D 30度未満

第10問 酒造好適米の米粒中心部にある「心白」の記述として間違っているものはどれでしょうか。

- A 心白米は吸水性が低い
B 心白部分は米の組織が粗い
C 心白米は蒸米の溶解性が高い
D 心白米は麹菌が食い込みやすい

第11問 お酒を飲む時、傍らにおいて時々飲む、洋酒のチェイサーに似た水を何と呼ぶでしょうか。

- A 安らぎ水 B 和らぎ水 C 和み水 D 追い水

第12問 酒蔵の入り口に下がっている酒林は何の葉でできているでしょうか。

- A マツの葉 B ヒノキの葉 C スギの葉 D モミの葉

*****正解は「ものしりブック」でご確認ください*****